

試験

◇試験

試験は原則として、その科目が開講された学期末に行われます（定期試験）が、科目によっては学期中に何回か試験が行われ、それらを総合して成績が評価されるものもあります。演習・実習や実験は実験のレポート等が試験に代わるものとなります。

講義を1度でも欠席するとその後の学修に困難が生じますし、授業に2/3以上出席していなければ、試験を受けることができないだけでなく、成績評価は「不可」となり単位は付与されません。ですので毎回の講義には欠席をしないようにしてください。

なお、病気その他止むを得ない理由で試験を欠席した者には、所定の手続きをすれば追試験を受験できる場合があります。

◇追試験

履修規則第18条に記載している以下の理由で定期試験を欠席した場合は、追試験の受験を願い出ることができます。

- (1) 病気（医師の診断書が必要）
- (2) 忌引（2親等以内の親族に限る）
- (3) 就職試験（企業説明会・ガイダンスなど試験以外は認められません）
- (4) 交通機関の遅延（交通機関の遅延証明書が必要）
- (5) 他大学院入試（受験票のコピーが必要）
- (6) 資格取得（学科内容と密接に関係すると認められる重要な資格に限る）

※自己の不注意等（寝過ごし、試験時間の間違い、乗用車・バイク・自転車の故障など）によって定期試験を受験できなかった場合、公的な証明書がない場合は、追試験を願い出る資格はありません。

追試験を希望する場合は、定期試験終了後、所定期間内に追試験受験願書に記載してある手順に従って願い出なければなりません。

追試験日程は、後日学務課より掲示にて通知します。（日程の詳細は行事計画表及び掲示を参照のこと。）なお、追試験を欠席した場合は再度追試は行いません。

◇再試験

定期試験などの結果が不合格だった者に対し、科目担当教員の判断で再試験を実施することがあります。定期試験終了後に再試験対象者名簿を掲示して発表します。

再試験対象者で受験を希望するものは、「再試験受験願」（学務課で交付）に受験料として1科目ごとに1,000円分の証紙を添付して学務課に願い出てください。再試験の日程は、前期は8月下旬、後期は2月下旬に予定されています。（日程の詳細は行事計画表および掲示を確認のこと）

なお、再試験を受験した結果の成績評価は、原則として「可」または「不可」です。

◇受験上の注意

(1) 仮受験票

試験を受ける際には、「学生証」が必要です。学生証を所持していない場合は、学務課で「仮受験票」を発行します。手数料200円分の証紙を添付して申し込んでください。仮受験票は当日のみ有効です。

(2) 受験制限

履修登録をしていない科目を受験することはできません。また、出席日数不足などの理由により、科目担当教員が受験を許可しない場合もあります。なお、試験開始30分以上遅刻した者は原則として受験することはできません。

(3) 試験の規律

試験を受ける際は、科目担当教員または試験監督の指示に従ってください。カンニングなどの不正行為は、学則40条の規定により、退学・停学・戒告処分の対象となります。

成績評価と単位付与

◇成績評価

成績は、通常の科目によっては「秀」「優」「良」「可」「不可」「合格」「不合格」で表されます。(合格で表される科目は25ページ記載)「秀」「優」「良」「可」と「合格」の場合は、単位が付与されます。また他大学等における修得単位あるいは大学以外の教育施設等における学修については、これを本学における学修とみなし、教授会の議を経て、単位を付与することがあります。この場合の標語は「認定」とします。

◇成績評価及び単位認定が行われる条件

科目担当教員から成績評価及び単位付与の判定を受けるためには、学生本人が次のすべての項目を満たしていなければなりません。

- ① 定期試験及びその他に実施された試験を受験していること。又は科目担当教員の指示事項(レポート提出・実習試験等)が完全に満たされていること。
- ② 不正行為がないこと。
- ③ 科目の出席時間数とその総時間数の3分の2を満たしていること。
- ④ 定められた期日までに授業料及びその他の納付金を完納していること。

上記の項目をすべて満たしている者を対象に、科目担当者がシラバスに基づき成績評価及び単位付与の判定を行います。

◇成績評価基準

成績評価は以下の基準により行われます。

評価の名称	総合評価点
秀 (S)	100～90
優 (A)	89～80
良 (B)	79～70
可 (C)	69～60
不可 (D)	59以下

※一旦評価の行われた科目については、これを取り消したり、再度履修して評価を変更したりすることはできません。成績に疑義のある場合は、成績表受領後7日以内に学務課に照会してください。

◇成績通知

各学期末に出された成績の結果については、ポータルサイトにて確認できます。

また、学生個人に対しては、前期・後期の履修ガイダンスのときに学科教員から直接本人に手渡されます。成績表には、その学期までの成績・既修得単位・不合格必修科目一覧表・その学期の単位修得状況などが記載されています。

成績表は、次学期の履修登録の資料となります。大切に保存しておいてください。とくに単位修得数は常にチェックし、各学年の終了時における進級条件をクリアし、卒業にいたるまで計画的な履修ができていないか否かを確認してください。

◇Ⅲ類の他学科履修・大学院履修科目による修得単位の取扱い

(理工学部) (建築・都市デザイン学部)

Ⅲ類他学科履修科目及び大学院履修科目による修得単位のうち、20単位までを卒業に必要な単位数に算入することができます。

(情報学部)

Ⅲ類他学科履修科目及び大学院履修科目による修得単位のうち、30単位までを卒業に必要な単位数に算入することができます。

◇他大学等における修得単位または大学以外の教育施設等における学修についての単位認定

本学学則に定める他大学等における修得単位あるいは大学以外の教育施設等における学修については、これを本学における学修とみなし、教授会の議を経て、単位を付与することがあります。これらについては、事前に学部長に届出をした上で、単位認定を願い出てください。ただし認定を願い出た科目がすべて認定されるわけではなく、その内容が本学における教育課程と照らし合わせて、認定に値すると認められた科目についてのみ単位が付与されます。認定された単位は、60単位を限度として卒業に必要な単位数に算入することができます。

◇入学前の既修得単位の認定

本学学則に定めるように、本学に入学する前に行った既修得単位を、入学した後の本学における授業科目の履修とみなし、教授会の議を経て、単位を付与することがあります。入学後速やかに単位認定を願い出てください。ただし認定を願い出た科目がすべて認定されるわけではなく、その内容が本学における教育課程と照らし合わせて、認定に値すると認められた科目についてのみ単位が付与されます。認定された単位は、60単位を限度として卒業に必要な単位数に算入することができます。

GPAによる成績評価について

◇GPAの目的

みなさんが大学で学修する上で心掛けてほしいことは、履修すると決めた科目を途中で投げ出し
たりせず、最後まで精一杯取り組むということです。そのためには無理のない履修計画を作ること、
不用意な科目選択を行わないことが求められます。

本学ではGPA (grade point average) 制度を採用しています。GPA 制度とは、みなさん一人
ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表し、学ぶ量ではなく質を問うことを目指すものです。
自分の学修ペースをつかみ、みなさんの履修計画にも大いに活用してください。

◇成績評価と GPA

各科目の評価は、「秀」を4、「優」を3、「良」を2、「可」を1、「認定」を2、「不可」を0とし、計算し
ます。

◇GPAの計算 方法

GPA = $\frac{\text{(成績} \times \text{単位数) の合計}}{\text{(履修した科目の単位数) の合計}}$ ※ GPAの計算は、小数点第3位以下を切り捨てます。

【例】	授業科目名	成績評価	単位数	ポイント (成績×単位数)
	General English1	秀 (4)	2	4 × 2 = 8
	スポーツ1	不可 (0)	1	0 × 1 = 0
	国際関係論	不可 (0)	2	0 × 2 = 0
	韓国語1	良 (2)	2	2 × 2 = 4
	英語コミュニケーション	優 (3)	2	3 × 2 = 6
	文学	可 (1)	2	1 × 2 = 2
	プログラミング応用	優 (3)	1	3 × 1 = 3
	インターネットと情報倫理	良 (2)	2	2 × 2 = 4
	微分積分/演習	可 (1)	3	1 × 3 = 3
	線形代数	良 (2)	2	2 × 2 = 4
	工業力学1	良 (2)	2	2 × 2 = 4
	合計		21単位	38

$GPA = (B) \div (A) \Rightarrow 38 \div 21 = 1.80$ 以上の計算で、この学期のGPAは1.80となります。

※GPAを高くするには、可より良、優、秀を取得できるようにすればおのずとGPAは上がります。

◇GPA対象外 科目

- ①「教育の基礎的理解に関する科目」
「道徳・総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」
「教育実践に関する科目」
「大学が独自に設定する科目」 (58ページ記載)
- ② I 類の集中科目
- ③入学前に修得して単位認定された科目
- ④「合格」「不合格」で評価される科目

◇GPAの活用 方法

次のような場合の資料の1つとしてGPAを活用します。給費型奨学生継続基準、就職・大学院への推薦基準、優秀賞・学長賞・総代の選出資料、クラス分け、卒研配属等の参考資料、退学勧告
・科目到達目標水準50以上の選択科目に関する履修条件基準
※原則としてGPA2.6以上とする。ただし、助言教員による許可判断がある場合はその限りではない。
半期GPA1.0未満が2回続いた場合に、原則として助言教員並びに学科での指導を受け、指導を受けても改善の見込みがない場合には、学科及び教授会の議を経て、退学勧告を行う場合があります。

◇GPA制度を活用 する上での履修登 録時の注意点

- ・履修登録した科目を受講しなかったり、途中放棄してしまうとGPAは下がります。
- ・不必要に履修科目を大幅に多く登録しても、結果不合格が多いとGPAは下がります。
- ・GPAの回復には次に履修する科目で挽回しなければなりません。GPAをもとに履修指導が行われるため履修計画は各自で十分に検討しましょう。
- ・登録手続きや確認は各自の責任で行ってください。

**◇学ぶ質を
高めるには**

- ・大学の授業は1単位につき、予習・復習時間を含めて45時間（1週間に3時間）の学習が必要です。このことを理解し履修登録をしてください。
- ・科目担当者や助言教員などに積極的に質問をし、レポート、課題等にしっかり取り組んでください。
- ・学習・教育サポートセンターでは皆さんの学習支援を行っています。質問や相談に気軽に利用してください。

**◇GPA制度の
導入に伴う
履修取消期間**

前期・後期とも4回目の授業の頃にGPA履修取消期間（2日間）を設定しています。各年の期間は学部行事計画表で確認してください。これは、成績評価にGPA制度を導入したことに伴って、合格の見込みのない履修科目を自分の意思によりキャンセルすることで、GPAが下がらないように配慮した処置です。履修取消を希望する学生は、取消申請をしてください。（申請方法については、学生ポータルサイトを参照すること。）なお、この期間の新たな科目の追加は認められませんので注意してください。

第1章 履修・成績について

カリキュラム

◇学修上の心構え

大学においては自らが求めて学修しようとする意欲と意志が必要とされます。与えられるのではなく、自覚と目的意識を持ち、自ら積極的に学ぼうとする姿勢が必要です。

◇授業科目

本学のカリキュラムはその内容によりⅠ類(人間・文化科目)とⅡ類(学部共通専門基礎科目)そしてⅢ類(学科専門科目)に大別されます。また、それぞれの科目に必修(必ず受講しなければならない科目)と選択(各自の希望により受講可能な科目)が指定されています。

◇単位制

大学の授業は単位制度をとっています。各講義科目にはそれぞれに学修時間が決められており、この時間以上を学修し、学修結果の判定(定期試験等)を受け、合格すれば単位が与えられるという仕組みです。そして、卒業に必要な総単位数を全て修得すると卒業資格の一つが与えられます。

また、1単位の授業科目は45時間の学修をもって構成されることが標準となりますが、授業時間外に必要な学修等の考慮などにより、1単位付与の基準は次のように授業形態により異なります。

①講義・演習

15時間の授業をもって1単位とする。(科目によっては15~30時間の範囲で定める場合があります。)

②実験・実習

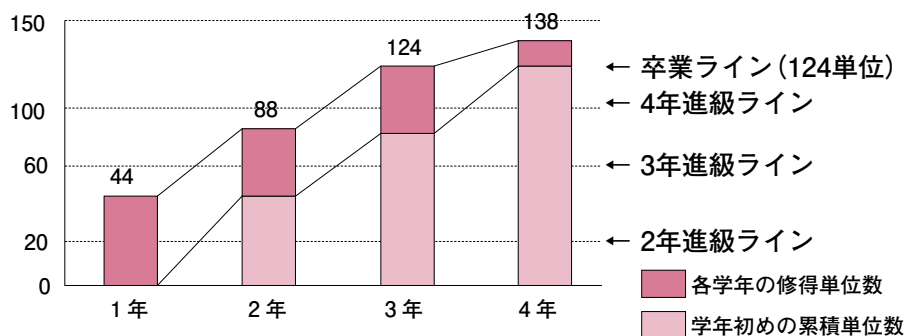
30時間の授業をもって1単位とする。

◇進級条件

本学ではより確実な学修をはかるため、卒業に至るまでに毎年ハードルを設けています。各学年の進級条件は下表のとおりです。

2年進級条件	1年末までの修得単位数が20単位以上
3年進級条件	2年末までの修得単位数が60単位以上
4年進級条件	3年末までで、卒業に必要な単位数のうち未修得の合計が20単位以下

なお、下のグラフは、各学年ごとの修得単位数の推奨モデルを示しています。



◇学系・コース

本学では、科学技術の動向に対応してそれぞれ次のようなコースを設けています。
 コース分けは早い時期に大体的見当をつけておくのがよいと思います。また、コースの選択には、実験設備などの面から極端に片寄りがある場合は調整することもあり得ます。

学系名とコース名
 理工学部理工学科

学 系	コース名	コース分けの時期	コース開始
機 械 ・ 航 空 ・ ロ ボ ッ ト 工 学 系	ロボット工学コース 航空工学コース 自動車工学コース	2年12月下旬	3年前期
電 気 電 子 工 学 系	制御・エネルギーコース 情報通信・デバイスコース	2年12月下旬	3年前期
物 質 生 命 科 学 系	応用生命化学コース 環境応用化学コース	2年6月下旬	2年後期

建築・都市デザイン学部建築・都市デザイン学科

学 系	コース名	コース分けの時期	コース開始
建 築 学 系	建築コース	入学時	1年前期

※都市デザイン学系における2つのコース(地球工学コース、地域創生コース)については履修モデルにおけるコース名のため所属するものではありません。

※情報学部情報学科における4つのコース(コンピュータコース、クリエイションコース、人間情報学コース、社会情報学コース)については履修モデルにおけるコース名のため所属するものではありません。

◇卒業要件

本学を卒業するためには、本学に4年以上在学し、124単位以上を修得し、かつ各学科とコースで定められた必修科目がすべて含まれていなければなりません。なお、各学科の科目分類ごとの卒業単位数は次のとおりです。

・2026年度以降入学生

理工学部理工学科

区分	機械・航空・ロボット工学系	電気電子工学系	物質生命科学系
I類	必修 3単位 選択必修 4単位 選択 18単位以上	必修 3単位 選択必修 4単位 選択 12単位以上	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 12単位以上
II類	必修 8単位 選択必修 3単位 選択 12単位以上	必修 9単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上	必修 1単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上
III類	必修 40単位 選択必修 4単位 選択 17単位以上	必修 23単位 選択必修 3単位 選択 28単位以上	必修 48単位 選択必修 16単位 選択 10単位以上
I II III類 のいずれか	15単位	31単位	15単位

建築・都市デザイン学部建築・都市デザイン学科

区分	建築学系	都市デザイン学系
I類	必修 3単位 選択必修 4単位 選択 10単位以上	必修 3単位 選択必修 4単位 選択 12単位以上
II類	必修 3単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上	必修 5単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上
III類	必修 37単位 必修 4単位(都市デザイン学系科目) 選択必修 4単位 選択 38単位以上 選択 4単位以上(都市デザイン学系科目)	必修 42単位 必修 5単位(建築学系科目) 選択 20単位以上
I II III類 のいずれか	6単位	22単位

情報学部情報学科

区分	情報学科
I類	必修 3単位 選択必修 4単位 選択 16単位以上
II類	必修 5単位 選択必修 3単位 選択 10単位以上
III類	必修 23単位 選択必修 14単位 選択 36単位以上
I II III類 のいずれか	10単位

・2021～2025年度以降入学生

理工学部

区分	機械工学科	電気電子工学科	物質生命科学科	建築学科	土木工学科
I類	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 18単位以上	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 12単位以上	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 12単位以上	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 12単位以上	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 12単位以上
II類	必修 9単位 選択必修 3単位 選択 12単位以上	必修 7単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上	必修 1単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上	必修 1単位 選択必修 3単位 選択 8単位	必修 1単位 選択必修 3単位 選択 8単位以上
III類	必修 40単位 選択必修 4単位 選択 17単位以上	必修 23単位 選択必修 3単位 選択 26単位以上	必修 48単位 選択必修 16単位 選択 10単位以上 または0単位(許可者のみ)	必修 38単位 選択必修 4単位以上 選択 27単位以上	必修 41単位 選択 18単位以上
I II III類 のいずれか	10単位以上	31単位以上	15単位または 25単位(許可者のみ)	20単位以上	30単位以上

情報学部

区分	コンピュータシステム学科	情報デザイン学科
I類	必修 3単位 選択必修 8単位 選択 16単位以上	
II類	必修 3単位 選択必修 3単位 選択 12単位以上	必修 3単位 選択必修 3単位 選択 10単位以上
III類	必修 19単位 選択必修 10単位 選択 36単位以上 ＜特別プログラム1、2またはデータサイエンス演習1、2 コンピュータシステム実践演習1履修者＞ 選択必修 14単位 選択 32単位以上 ＜特別プログラム1、2またはデータサイエンス演習1、2 実践ベンチャービジネス1またはデータサイエンス実践演習1履修者＞ 選択必修 28単位 選択 18単位以上	必修 17単位 選択必修 14単位 選択 34単位以上 ＜特別プログラム1、2-情報デザイン実践演習1履修者＞ 選択必修 16単位 選択 32単位以上 ＜特別プログラム1、2-実践ベンチャービジネス1、2履修者＞ 選択必修 28単位 選択 20単位以上
I II III類 のいずれか	14単位以上	16単位以上

◇学位

卒業とともに与えられる学位は次のとおりです。

機械・航空・ロボット工学系	学士(工学)
電気電子工学系	
建築学系	
都市デザイン学系	
物質生命科学系	学士(理学)
情報学科	学士(情報学)